



2012～2013年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2012～2013年度
国際ロータリー・テーマ

奉仕を通じて平和を
Peace through Service

国際ロータリー会長
田中作次

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

会長 渡邊 文敏 幹事 辛嶋 崇 会報担当 長野 定生 クラブ広報委員長 長野 定生

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

第1118回例会 平成25年5月23日(木)

●本日の例会プログラム 夜間例会 拡大クラブ協議会
「2013-14運営方針について」

◎次回例会プログラム 地引網青少年事業



前回(1117回例会)の記録

平成25年5月16日(木)

■ゲスト

中津市
軍師官兵衛推進室室長
浜田光国氏

■出席報告

会員数 25名
免除者数 1名
対象者数 24名
本日出席者 18名
欠席者数 6名
出席率 75.00%

■ビジター

東納英一君(中津中央RC)

■1115回出席報告の修正

1115回欠席者 6名

メイクアップ 2名

欠席者 4名

修正出席率 75.00% → **83.33%**

●メイクアップ

若松(中津中央)、加来(中津)

●欠席者

宇都宮、矢頭、仲本、松本

◎ロータリーソング あすという日が

◎会長の時間 会長 渡邊文敏

日経新聞の「私の履歴書」にプロゴルファーの岡本綾子さんの半生を連載中です。今日で15回目ですが、毎日楽しみに読んでいます。まさに「ワイルドだろう」がふさわしい内容で、国内44勝、海外18勝の強さの秘密がよく分かります。



岡本さんは幼い頃からお兄さん2人と農業を営む両親の仕事を手伝ってきました。ご飯を炊くのもお手のもので、お父さんの酒のサカナにする食用ガエルをあぶり、自分も食べていたといいます。小学校6年になると20キロのジャガイモのコンテナを肩に担いでも平気だったそうです。高校のソフトボール部の練習の厳しさは半端ではありません。練習中は水を飲むのを禁じられ、コーチの目を盗んで雑巾水の水をすすったそうです。エースだった岡本さんは「ボールに魂がこもってない」と鼓膜が破れたかと思うほど殴られたことがあるとも書いていました。

今なら大問題になるはずの体罰を淡々と語り、時には笑い飛ばすような書きっぷりも心地よく感じられます。ただチームメイトとの軋轢に始まる人間関係のトラブルは岡本さんを長く苦しめたようです。ライバルたちの嫌がらせに言い返せず、泣き寝入りする日が続いたと語っています。

体罰もいじめも決してあってはなりません。しかし、「ソフトボールを経験しなかったら私はどうなっていたらろうか」と彼女は振り返っています。この血のにじむような努力があったからこそ世界の岡本があるのでしょうか。

「若いときの苦労は買ってでもせよ」、ちょっと古いですが「かんなん汝を玉にす」という昔からの格言が有ります。今の若い人にも十分通用するのではないのでしょうか。

◎幹事報告 幹事 辛嶋 崇

●例会変更 別府東RC、中津RC6/26(水)
→18:30最終例会

●週報受理 杵築RC

●幹事報告 ロータリアン誌5月号(英文)





2012～2013年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2012～2013年度
国際ロータリー・テーマ

奉仕を通じて平和を
Peace through Service

◎その他報告事項

・中津市民花火大会のPR

共催のお願いと実行委員を出してもらうことのお願いで



・二反田会員

広報IT部門研修会報告

◎ゲスト卓話

「軍師官兵衛について」

中津市 軍師官兵衛推進室室長 浜田光国氏

「黒田官兵衛(孝高)」は、天文15年(1546)に播磨国の姫路で生まれた戦国時代から江戸時代前期にかけての武将・大名です。軍略や外交面でたぐいまれな才能を発揮し、豊臣秀吉の参謀(軍師)として活躍しました。

天正14年(1586)、大友宗麟からの要請で九州征伐に参加し、各地での戦勝に貢献しました。九州平定後の天正15年(1587)から中津城の築城を開始し、初代中津城主となりました。

天正17年(1589)には家督を子供の長政に譲り、「如水軒」と号したこと、「如水」の名でも広く知られています。また、「ドン・シメオン」という洗礼名を持つキリシタン大名でもありました。

慶長5年(1600)の関ヶ原の戦いでの褒美として、徳川家康から筑前国名島(福岡)へ加増移封となりましたが、その後は、中央の政治には関与せず、大宰府天満宮に草庵を構えるなど隠居生活を送り、慶長9年(1604)、京都伏見で波乱に満ちた59年間の生涯を閉じました。

官兵衛がその礎を築いた「城下町中津」は、近年の調査で、黒田時代にある程度なされていたことが判明しています。

また、中津城では、黒田時代の石垣を見ることができません。

ゆかりの観光スポット

・中津城黒田時代の石垣

当時の最高技術である穴太積みの技法が用いられ、自然石を削らず、形を生かして積まれている。

・城井神社

中津城で黒田長政に誘殺された宇都宮鎮房を祀った。

・扇城神社

宇都宮鎮房の従臣を稲荷大明神として祀った。

今後の取り組み

- ・官兵衛資料館を設置 中津城周辺
- ・まちなか官兵衛館を設置 日の出町、新博多町

広報宣伝計画

- ・パンフレット、ポスターの発行
- ・観光看板製作
- ・大分空港シャトルバス、公用車等のラッピング
- ・情報発信環境の整備 ホームページやスマートフォン対応
- ・テレビ、ラジオ番組の誘致
- ・旅行商品の造成
- ・空港ターミナルの利用
- ・旅行誌等広告掲載
- ・各種イベント開催
官兵衛ウォーク 10月27日(日曜日)
その他計画検討中



軍師官兵衛PRポスター

中津城公式キャラクター
くろかんくん



公式キャラクター「くろかんくん」

中津で、天下の夢を見た。



2014年大河ドラマ
軍師官兵衛

キャッチコピー